

碑文谷六丁目自治会 平成30年度決算

(円)

収入

	A	B
	30年度実績	30年度予算
自治会費	212200	9000
私道防犯灯補助金	47600	47600
分別資源回収報奨金	316920	310000
区事務事業委託費	240280	240280
寄付金・募金 交付金	17200	18600
預金利息	2	3
計 A	834202	625483

別途積立金	実績
前年度残高	9150863
預金利息	78
繰入額	0
取崩額	110000
今年度残高	9040941

支出

寄付金・募金 *1	320000	310000
会費・分担金 *2	174800	203800
渉外費 *3	86000	96000
定時総会	19153	18400
ラジオ体操	66500	80000
見学会	9000	50000
世話人会	27925	40000
子供110番	12420	14000
入学祝い	21000	21000
敬老祝い	54000	60000
成人祝い	21000	30000
防災・防犯・避難所	19748	50000
団体補助金 *4	180000	180000
防犯灯電気料金	39253	38000
防犯灯修理費	0	20000
活動費	308000	328000
事務費・事務用品等	33758	72396
会議費・役員勧誘費	20696	60000
計 B	1413253	1671596
当期収支差 A-B	-579051	-1046113
前年度期末残高 C	483113	486113
積立金取り崩し D	110000	560000
今年度期末残高 E	17062	0

三井住友 17062  
現金 0

	実績
赤十字	100000
赤い羽根	60000
歳末助け合い	120000
西日本豪雨	20000
北海道地震	20000
計	320000

ラジオ体操時	
1円玉募金	2783

	*2 会費分担金
区関連	0
警察関連	12000
消防関連	15000
祭り関連	35000
住区関連	60000
町会連合会	9600
社会福祉・赤十字	37200
公園くらぶ	6000
計	174800

	*4 実績
青年部	60000
消火隊	60000
清掃協力会	60000
計	180000

碑文谷六丁目自治会 財務部部長 小宮邦治

監査の結果、会計記帳は正確かつ用途は適正であると認めます。

会計監査 三輪幸次郎

会計監査 佐野久美子

碑文谷六丁目自治会 2019年度予算

(円)

収入	A	B
	2018年度実績	2019年度予算
自治会費	212200	10800
私道防犯灯補助金	47600	47600
分別資源回収報奨金	316920	300000
区事務事業委託費	240280	0
寄付金・募金 交付金	17200	18600
預金利息	2	1
計 A	834202	377001

支出

寄付金・募金 *1	320000	300000
会費・分担金 *2	174800	204800
渉外費 *3	86000	111000
定時総会	19153	23850
ラジオ体操	66500	80000
見学会	9000	35000
世話人会	27925	42000
子供110番	12420	13000
入学祝い	21000	3000
敬老祝い	54000	60000
成人祝い	21000	30000
防災・防犯・避難所	19748	50000
団体補助金	180000	180000
防犯灯電気料金	39253	42000
防犯灯修理費	0	20000
活動費	308000	312000
事務費・事務用品等	33758	37413
会議費・役員勧誘費	20696	50000
計 B	1413253	1594063
当期収支差 A-B	-579051	-1217062
前年度期末残高 C	483113	17062
積立金取り崩し D	110000	1200000
今年度期末残高 E	17062	0

別途積立金	予算
前年度残高	9040941
預金利息	59
取崩額	1200000
今年度残高	7841000

\*1

区分	予算
赤十字	110000
赤い羽根	70000
歳末助け合い	120000
計	300000

\*2

碑文谷交通安全協	3000
碑文谷公園くらぶ	6000
碑文谷防犯協会	9000
社会福祉協議会	17200
目黒防火防災協会	10000
目黒区保護観察協	20000
目黒区町会連合会	9600
盆踊り分担金・寄付	30000
碑文谷八幡祭礼関係	55000
目黒区第7消防分団	5000
住区新年会分担分	20000
住区火祭り協賛金	20000
計	204800

月 \*3

5	交通安全協会懇談	5000
5	防犯協会総会	5000
7	盆踊り反省会	12000
11	住区祭り反省会	9000
11	赤十字見学会	6000
12	防犯協会忘年会	5000
1	町会連合新年会	5000
1	第7消防分団新年会	5000
1	目黒区新年の集い	5000
1	住区合同新年会	48000
2	共同募金見学会	6000
	計	111000

自治会がなくなったら、どうなるでしょうか？

2019年4月

回覧は不要、地域の行事は不要、各種のお祝い不要、ラジオ体操等の自治会行事は不要と思う方には自治会は必要ないかも知れません。しかしほんとうにそうでしょうか？

●六丁目自治会内には私道に17の防犯灯があり、管理は自治会が行い、電気料金は自治会が支払っています。自治会がないとその私道の近辺の方々が電気料金を支払い、街灯の管理をすることになります。

●ごみ回収の規則が守られない集積所があります。近所の手前 直接は言いづらい、しかし解決したい場合はどうしたらよいのでしょうか。

現在は碑文谷六丁目清掃協会の担当者が清掃事務所やその近隣の世帯の橋渡しをし、解決を図っています。これからは自ら目黒区清掃事務所に連絡し問題解決を図らなければなりません。現在関係団体の碑文谷六丁目清掃協力がその役割を果たしています。

●7か所の掲示板の管理もしています。区からの情報は区報又はインターネットで見ると不要という人々だけが住民ではありません。掲示板を頼る方々が存在します

●地域の行事として根付いている、7月の盆踊り・1月の火祭りは住区主催ですが、その構成員は各町会と自治会です。五町会のボランティアで人と費用を分担しています。当自治会がないと即できなくなることはありませんが、将来はこれらの行事の存続も難しくなる可能性があります。

●地域の民生委員・保護司・選挙の委員や立会人・明るい選挙委員・国勢調査員・子供110番・28台の消火器の配置の推薦も自治会が担っています。本来は区の責任ですが、実際に区がすることは困難です。これらの方々の不在は地域のリスクを増します。

●自治会の分別資源回収報奨金から、日本赤十字社・赤い羽根募金・年末共同募金に寄付をしています。これらの寄付も地域の安心と安全のために役立っています。

●警察、消防署や日本赤十字社に協力し、防犯、防火と日赤の活動に参加しています。

●地域密着型通所介護事業所運営会議に地域代表として参加。

介護保険法により必要な会議で、地域代表として会長が出席しています。

●大規模災害を想定し避難の運営協議会で5町会で準備をしています。

- 災害時に一人では避難が難しい方々のリストを目黒区から会長だけが委任され保有しています。これを基に避難誘導を依頼されています
- 自治会の活動のラジオ体操、スイカ割り、見学会、こども 110 番、夜回り、小学 1 年生入学祝い、敬老祝い、成人祝い、防犯・防火・路上喫煙防止・ひったくり防止・振り込め詐欺防止・挨拶運動等のキャンペーンがどれほど地域に役だっているかは定かではありませんが、地域の安定に一定の役割を果たしていると考えています。

自治会がないと、自治会の行事がなくなるという直接の行事だけでなく自治会が維持していた細い地域の絆も失われます。

自治会 会長 小宮邦治